

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称	企画業務費[生産緑地法・公有地の拡大の推進に関する法律に基づく申出等に係る庁内の対応事務]										
予算科目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	7	企画費	事業番号	1
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) <input type="checkbox"/> 課内庶務等 <input type="checkbox"/> 休止したもの <input type="checkbox"/> 廃止したもの										
担当部署・課長名	企画政策（企画課）			課	企画政策（企画担当）			担当	課長名	荒井 亮二	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	4 - 1		
【施策名】 市街地の整備								総合計画書 (ページ)	83		
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）						
	①総務管財課からの照会文書（公有地拡大の推進に関する法律に基づく申出等） ②都市づくり課（都市計画課）からの照会文書（生産緑地法に基づく申出等）				①総務管財課からの照会件数 ②都市づくり課（都市計画課）からの照会件数						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 庁内の意思を確認できる。				② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）						
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）							
①総務管財課からの照会文書に対して、まちづくり部（都市建設部）へ照会をかけた。				①まちづくり部（都市建設部）へ照会をかけた件数							
②都市づくり課（都市計画課）からの照会文書に対して、各部へ照会をかけた。				②各部へ照会をかけた件数							
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績		令和4年度目標	令和5年度目標		
	対象指標	①の数値	件	①6 ②7	①8 ②4	①10 ②4					
	成果指標	②の数値	件	①6 ②7	①8 ②4	①10 ②4					
	目 標	②の目標値	%	100	100	100					
	目標値設定の考え方（課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。） 総務管財課及び都市づくり課（都市計画課）からの照会文書を、漏れなく回答する。										
活動指標	③の数値	①件 ②件	①6 ②7	①8 ②4	①10 ②4						
3 経費	事業費（実績）		円	0	0	0		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値（退職手当組合負担金、共済費も含む。）			
	財源	一般財源	円	0	0	0					
		特定財源	円	0	0	0					
	(うち受益者負担)		円	0	0	0					
	人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	人	0.02	0.02	0.02					
		所要人数(再任用)	人								
職員人件費(再任用以外)		円	166,200	167,600	165,000						
職員人件費(再任用)		円									
事業費+人件費		円	166,200	167,600	165,000						
4 課題	今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） ※廃止したものを除く										
	担当部署から企画財政部に買取り希望に係る庁内意思集約の照会があり、企画財政部が庁内に照会した結果を依頼のあった担当部署宛に回答しているため、処理期間及び事務の流れの点で非効率であるとする。										
5 今後の方向性	仕事の方向性（「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） ※廃止したものを除く										
	担当部署から直接庁内に照会することとし、総務管財課及び都市づくり課（都市計画課）と調整し、検討する。										